



自己紹介

令和7年9月

氷見市地域おこし協力隊 9期生
(令和6年4月～)

ふせ なおき

布施 直樹

出身 大阪府茨木市生まれ

経歴 氷見市の前は京都府舞鶴市で農業をしていました
(万願寺甘とう、イチゴ、水稻他)

趣味 DIY、草野球 (去年引退しました)

家族 妻と3人の子供がいます





ミッション

- ① 宇波地域づくり協議会に所属し、地域活性化の取り組みを支援。
- ② 地域の特産品である「灘浦みかん」のブランド化。



宇波地域づくり協議会 総会



灘浦みかん



活動場所

- ① 宇波公民館（宇波地域づくり協議会事務局）
- ② 宇波地域にあるみかん園場



宇波公民館



九殿浜展望台みかん園



今まで行ってきた活動①

・先進地視察

- ①地域づくり協議会役員と灘浦かんきつ研究会会員の総勢23名で、岐阜県海津市の南濃みかん（蔵出しみかん）の視察に行く。
- ②灘浦かんきつ研究会会員と和歌山県JAながみねと「秋津野ガルテン」に。
- ③富山県砺波市のせんだんのHILLと立山町の釜ヶ渚みらい協議会へ。



海津市視察時 集合写真



「蔵出しみかん」
貯蔵庫の様子



JAながみね 剪定講習会



今まで行ってきた活動②

・ みかん園の管理作業

- ①九殿浜園地のみかん園を、灘浦かんきつ研究会会員と一緒に、農薬や肥料の散布、摘果、草刈り等の共同作業を実施する。
- ②高齢等で管理出来なくなったみかん園の、管理作業を実施。
- ③繁忙期に灘浦かんきつ研究会会員の、作業をお手伝い。



作業手伝い



農薬散布



共同作業



共同作業②



今まで行ってきた活動③

- 灘浦みかんの生産に、新しい生産技術の試行

- ①白マルチ被覆による水分コントロール。
- ②地元の未利用資材である、魚加工残滓肥料（𩶂粕）、竹チップの利用。
- ③農薬の見直し（有機JAS適合農薬の試用）。
- ④新品種の導入検討。



魚加工残滓や竹チップを試用



白マルチ



今まで行ってきた活動④

- ・ 灘浦みかんの販売、PR活動
 - ①直売所への出荷。
 - ②イベント出店（漁業文化交流センター等）
 - ③収穫体験の実施。
 - ④ロゴマーク、グッズの制作。
 - ⑤専用の袋、箱等の制作。
 - ⑥メディア取材対応。



直売所へ出荷



収穫体験の実施



イベント出店



今まで行ってきた活動⑤

■ 宇波地域をみかんの里に

宇波地域の各世帯にみかんを植えてもらって、ミカンの里に。

令和6年度は70世帯が新植



「灘浦みかん」の苗木を 植えよう！！



連絡先：
宇波公民館

(0766)78-1503

宇波地域づくり協議会では、地域の特産品である「灘浦みかん」に愛着を持っていただき「灘浦みかんの里、宇波」として地域を盛り上げていくために「灘浦みかん」の苗木（宮川早生）の購入を支援します。

宮川早生 2 年生苗 1 本当たり通常 1,700 円前後の物を、700 円でご購入いただけるよう補助いたします。

12 月 13 日（金）までに宇波地域づくり協議会事務局（宇波公民館内）までご注文ください。限定 100 本としますので、お早めにご連絡ください。お待ちしております。苗の配布は令和 7 年 3 月下旬頃の予定です。

宇波地域づくり協議会 事務局 荻野・布施



今まで行ってきた活動⑥

■ 宇波地域づくり協議会の事業実施の支援

伝統的なお祭りや行事の準備、話し合い等に参加し、地域の方々に顔を覚えてもらうと同時に、情報を多角的に収集する。また、補助事業の申請や実施を支援。



あげもん祭り



ねまれ市



地域計画話し合い



地域計画話し合い②



今まで行ってきた活動⑦

- 宇波地域づくり協議会だよりの発行
協議会だよりの創刊号と第2号、第3号の作成、発行。

1 2024年10月 第1号

宇波地域づくり協議会だより

宇波地域づくり協議会



7月17日 23名で岐阜県海津市に「南濃産出みかん」の視察に行きました。

「宇波地域づくり協議会だより」の発行にあたって

宇波地域づくり協議会 会長 澤田邦夫

今年の夏は、記録的な暑さに見舞われましたが各位には、ますますご健勝のことと存じます。

また、本年元旦の能登半島地震では、宇波地域でも多くの家屋被災が発生し、今なお復旧・復興に努めております皆様には心からお見舞い申し上げます。

さて、当協議会では、安全で安心して住める自然豊かな地域づくりを進めるために「宇波地域づくり計画」を、令和6年3月に策定し、地区の皆様へ配布するとともに、氷見市にも提出しました。

計画初年度の主な事業として、

- ① 7月には瀬浦みかんの特産品化に向けた取り組みを進めるために瀬浦みかんづくり研究会と合同で岐阜県海津市への研修旅行を実施しました。
- ② 広報の発行（年2回を予定）
- ③ 防犯カメラを2基設置（CCZ 海岸の小境、大境トイレに設置）これからは「宇波地域づくり計画」に沿って、各種事業を地域と一緒に進めます。皆さんのご理解、ご協力をお願い致します。

1 第1号

2 2025年4月



九段公園の「瀬浦みかん」と富山県産の立山産

「瀬浦みかん」を地域の特産品に

・産業振興部会

11月9日に第一回産業振興部会開催。役員会の項を参照

「(仮称)オレンジロード」プロジェクト

太陽光発電所が建設されるのに併い、県道70号線沿いにみかんの苗木18本を植栽します。

今後、さらに植栽していくよう計画しておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

「(仮称)みかんの園」プロジェクト

各戸1本ずつ、みかんの苗木の購入に対して補助を実施。今年度は70本の苗木をご注文いただきました。3月末に入荷し、皆様にお渡しします。

来春も実施予定ですので、今回注文された方にも是非、植える場所を準備してご注文ください。お待ちしております。



また、「ふきのとうの会」に恒例のかき餅づくりで、「瀬浦みかん」を練りこんだ「瀬浦みかんかき餅」を作っていました。

今後も、試作品を作りたいと思っていますので、関心のある方は是非お声掛けください。



「瀬浦みかんスイーツ」試作

「瀬浦みかん」を使ったスイーツ試作のために、有志の女性グループと専門家に来てもらい、打合せをしました。

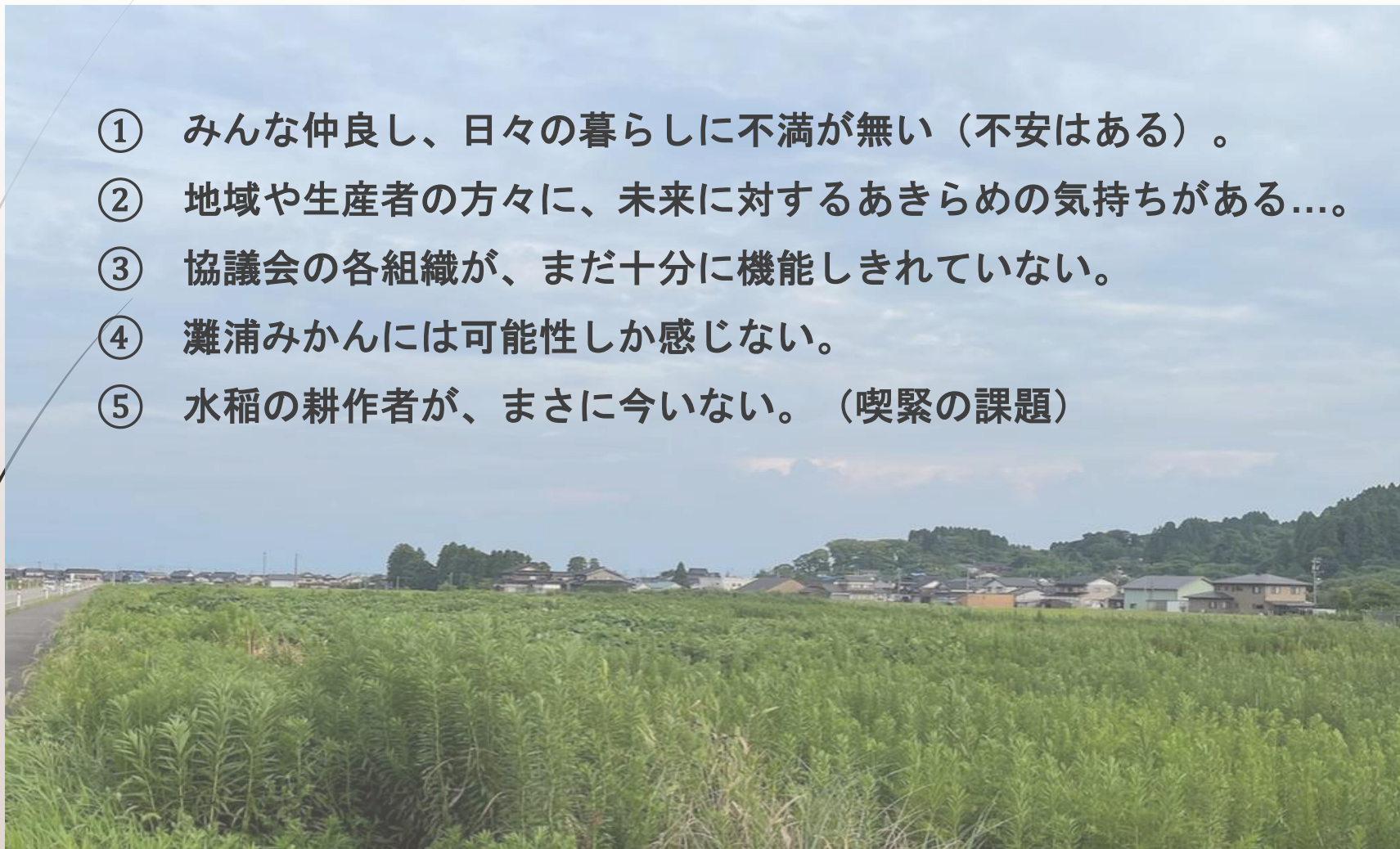



2 第2号



活動を通じて感じたこと...

- ① みんな仲良し、日々の暮らしに不満が無い（不安はある）。
- ② 地域や生産者の方々に、未来に対するあきらめの気持ちがある...
- ③ 協議会の各組織が、まだ十分に機能しきれていない。
- ④ 灘浦みかんには可能性しか感じない。
- ⑤ 水稻の耕作者が、まさに今いない。（喫緊の課題）





今後やりたい事...

- ① 「灘浦みかん」独自の栽培技術の確立と、生産者間で共有。
- ② 宇波の各家庭にみかんを植えてもらって宇波をみかんの里に。
- ③ 灘浦ICから宇波漁港までの県道70号線沿いにみかんを植えて、宇波のシンボルロードに。
- ④ 宇波地域の耕作放棄地で、みかん栽培に適した圃場にみかんを植えたい。
- ⑤ 九殿浜展望台周辺の耕作放棄地を開墾してみかんを植え、観光みかん園として整備したい。
- ⑥ 地域内の農地を効率的に利用する為に、地権者や耕作者、関係団体と協議して利用計画を立案し、実施したい。
- ⑦ 継続的に事業（農業）を実施していくための組織を立ち上げたい。
ゆくゆくは法人に。